

## 令和4年度 第1回 曳馬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月28日（木） 10時15分から11時30分まで
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 厚、飯尾 忠弘、川井 啓介、小楠 和子、加藤美智子、  
飯尾 智弘、池村 俊典、丸茂 早織、中津川 涼
- 4 欠席委員 中田 篤志
- 5 学校 竹内 孝夫（校長）、花井 清孝（教頭）、影山 重広（CS担当）  
内堀 邦子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
  - (1) 会長の選出及び副会長の指名について
  - (2) 議長の選出について
  - (3) 会議内容
    - ①「令和4年度学校運営の基本方針」について（校長）
    - ②「学校支援の在り方」について（影山）
    - ③「夢育やらまいか事業」について（教頭）
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内堀 邦子
- 9 会議記録

司会の花井清孝（教頭）から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、司会から池村俊典委員を会議録署名人に推挙したい旨の説明があり、全員異議なくこれを選出した。

### (1) 運営協議会について

現在浜松市立小中学校 144 校中 130 校がコミュニティ・スクールとなり、125 協議会（小中合同が5校）ができた。

学校経営のパートナーとして一緒に頑張ってもらいたい。

毎年の学校評価を元に当事者となって学校運営の改善案と一緒に検討してもらいたい。

委員の皆さまのバックボーンやネットワークを活かし、協議会をさらによくしてもらいたい。（鈴木陽子）

### (2) 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、池村委員から 鈴木厚委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された 鈴木厚会長から、飯尾忠弘委員を副会長に指名する旨の報告があった。

### (3) 議長の選出について

司会から、議長は、鈴木厚委員を会長に推挙する旨へ意見を求めたところ、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 熟議内容について

##### ①令和4年度学校運営の基本方針について

竹内孝夫(校長)から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があった。学校経営の基本方針は昨年の(夢を持って高め合いたくましく生きようとする子)を育てる方針を継続していく。

重点目標である「児童の主体性・協働性を育むために自己肯定感と伝え合う力を高める」ために以下のことを行っている。

- ・たんぽぽ、ひまわりなどの適応教室フロアーを作り、教室に入れないうち一人一人の居場所を作る。
- ・授業の振り返りの時間を作り、授業で自己肯定感を高める。
- ・コロナ禍3年目になり、マスクの弊害で伝える力が全国的に下がっている。曳馬小学校は国語に力を入れてきた。伝え合う力を高めていくため、教育委員会の指導のもとICT支援によりタブレットを活用した教育を推進し伝える力を高めていく教育を補っていけるようにする。
  
- ・曳馬小学校の教育方針に同意して、皆で協力していきたい。  
本年度の重点、教育課題、学校目標、重点目標など目標や解決課題が多くある。解決に向けて、地域としてどのように関わって良いか、いろいろな立場から意見をいただきたい。(鈴木委員)
  
- ・現在教室に入れないうちは何人いるのか。(加藤委員)
- ・昨年度は該当児童が多数いたが、4月当初は新学期と言うこともあり全員教室に入ることができた。時間の経過と共にだんだん入れないうちが出てきて、4~5人いる。昨年度のパソコンルームを適応教室に作り替え対応している。  
適応教室があるということで、昨年度まで全く登校できなかった生徒が登校し始め、書き取りを「楽しい」と言って勉強し、「給食もここで食べるのかな、楽しみ」といったことがあった。  
集団での授業に適応できない子にも対応していきたい。(花井教頭)
  
- ・取り出し授業も行っているのか。(加藤委員)
- ・取り出し授業を行っている。(花井教頭)
  
- ・経営構想に立ち返りながら、それぞれの立場や経験から今後も意見を出してもらいたい。(厚会長)
  
- ・タブレットの活用について、現状どのようになっているのか。1人1台導入されているのか、個人情報やタブレットの管理はどのようになっているのか。(池村委員)
- ・個人1人1台導入し、タブレットは学校の教室近くの保管庫で管理している。アドレスやナンバーは教育委員会が管理している。教育以外は使えないアドレスなので、インターネットショッピングやメールなどには使えない。情報モラルの勉強も含め

情報担当や遠鉄システムの方の協力のもと、現在、教職員もタブレット活用法を勉強している。(影山主幹教諭)

・昨年上島小も担当していた。コロナ禍の参観会はタブレットを使ってリモート参観会を行っていた。(池村委員)

・曳馬小も市内で初めてオンラインで参観会を行った。タブレットは子供のものであり、現在は保護者が使用することが認められていない。そのため、今後タブレットを使ったりリモート参観は難しい。(影山主幹教諭)

・タブレットは何年生から使っているのか。(川井委員)

・1年生から授業で使っている。1年生のアサガオの観察の授業で写真をとったりしてタブレットを使用している。(影山主幹教諭)

・児童はタブレットを自宅に毎日持って帰っているのか。(厚会長)

・タブレットの持ち帰りはしていない。(影山主幹教諭)

・重点目標の中に自己有用感とかがかかっているが、自己肯定感と同じ意味なのか。(池村委員)

・自己有用感 他者との関わりの中で自分が必要とされていること。子供のほめ方として、子供のこんなことで貢献出来ましたと言ってほめて認めるというのが自己有用感なので、自己肯定感と若干ニュアンスが違う。(竹内校長)

以上、学校からの令和4年度学校経営構想の説明は理解していただいたということ、全員異議なく承認した。

今後この経営構想に立ち返りながら、それぞれの立場で熟議を重ねていく。(厚会長)

## ②学校評価報告書についての説明(影山主幹教諭)

昨年度から始まったコミュニティ・スクールの活動は学校経営方針に則って、授業を支えていただいてとてもありがたかった。活動がお手伝いではなく主体的に活動していただけた。

・昨年度CS協力依頼書が具体的に作成されたことにより、熟議の内容が進んだ。今年度の協力依頼書は昨年度のものを元に検討していく。(厚会長)

・コーディネーターは3校担当しているが、曳馬小学校の現状はどうか。(飯尾忠弘委員)

・協力内容が具体的にまとまっていて進んでいる。(池村委員)

・協力内容の中の水やりについて、アドバイザーから意見をいただきたい。(瀧アドバイザー)

・上島小学校は夏休み中の花壇の水やりは先生が行っている現状がある。(池村委員)

・花の会の方たちは、子供と関わっての活動を希望している。(瀧アドバイザー)

・2年生の野菜の育て方や苗の植え方などは活動として適している。(池村委員)

- ・教職員からの協力依頼の希望内容は、現在はお手伝い要素が強い。(影山主幹教諭)
- ・曳馬協働センターの裏に小さな花壇がある。その花壇に中学生と芋を植えた。子供と一緒に学びたいという花の会の活動。(瀧アドバイザー)
- ・花の会の方々は非常に高い意識と技量をもっている。昨年ポットに植えたパンジーの苗を小学校に寄付し花壇に植えてもらった。ポットで栽培したパンジーを地植えする際の植え替え方がわかっていなかった。花の会の方から指導があったら、教室以外の勉強が進むのではないか。(飯尾智弘委員)
- ・先日クローズアップ現代という番組で、先生方の長時間労働問題について取り上げていた。学校にコーディネーターの方がいて、地域の方と連携して野菜の植え方から草取り、収穫までを子供とともにに行っている場面があった。まさに、CS活動だと思った。先程の休み中に草取りを先生方が担っている話をきいて、この番組内容は、先生方の労働時間軽減問題や先生が生徒への関わり時間の充実強化や地域の活動活性化に繋がる活動の良い例だと思った。(丸茂委員)
- ・3年生の「曳馬地域についてのお話」の活動を行っているが、地域の方々は子供と直に関わりがあり、楽しんでいる。子供と関わりがある活動が大切。この活動はこの学校の伝統で続いているのは良い。(飯尾忠弘委員)
- ・昨年、6年生を送る会において6年生から学校へ送るピアノカバー製作の協力を行った。子供たちは予想以上にミシンを使うことができていた。ミシンの指導が充実していることがわかった。とても楽しかった。(飯尾智弘委員)
- ・今年度もこの2つの協力依頼「曳馬地域についてのお話」と「卒業制作」はまたお願いしたい。今年はコーディネーターも入って進めていけば、継続した活動が行えるのではないか。(影山主幹教諭)
- ・この地域の大学生の協力について瀧アドバイザーから提案があった。事前申し込みをする必要があるなど課題はあるが、初めての書道指導や書き初めの指導など協力ができるのではと考えている。今年すぐにできるとはいかないが、関係を作って活動につなげていきたい。(池村委員)
- ・CS活動にはPTAの協力が必要。花の水やりなどの活動協力は得られるか。(池村委員)
- ・現在環境委員がいて、夏休みの土日の週1日水やりは担当しているが、雑草だけの場所、真夏週1頻度の水やりは不適切、検討の余地がある。(丸茂委員)
- ・学校から具体的な要望があれば、PTAから保護者に向けボランティア募集を掛けることはできる。(中津川委員)

教室以外にも学びの場がある。例えば、花の水やりを通して、花の大切さや花の弱さ、根強さなどいろいろなことを学ぶことができる。そこが大切なことであり、そのことに関われることは地域の人としてもうれしい。教室以外の学びの場では地域の力を使って、教師が専門的な指導により専念できるように連携し、地域の子供たちを育てる架け橋の役割を担ってお手伝いしていきたい。(厚会長)

③「夢育やらまいか事業」について

この事業の目的は、子供たちの夢や希望をはぐくみグランドデザイン(学校経営方針)の具現化につながる浜松市立曳馬小学校の教育活動を補完することで、地域全体での学校づくりを推進していく事業。

花井教頭から、「夢育やらまいか事業」について説明があり、予算は講師の謝礼等として有効に使う予定。

- ・現在、旗振りのボランティアを継続するため、週1参加や謝礼を渡すなど環境を整えて継続が可能になっている。時代に合った環境を整えるのは必要なことだ。(厚会長)

「夢育やらまいか事業」について協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他

- ・新1年生通学途中に転んだときに周りの子供たちが助けていた。  
また、春休み中に新1年生が通学練習をしている姿が多くみられた。素晴らしい曳馬小学校だと思った。これらの素晴らしいことを子供たちに伝えたい。(加藤委員)
- ・令和3年学校評価で指摘があった学校ブログに給食の写真ばかりというところが、4月から改善されて、子供の活動写真が多くなってよかった。(飯尾智弘委員)
- ・運営協議会の資料は10日~14日前に送付して欲しい。(厚会長)

その他連絡事項等

花井清孝教頭から、次回会議は、令和4年6月10日(金)午前9時から各学級の授業参観をし、参観後、10時20分から多目的室にて、第2回の学校運営協議会を開催する旨の連絡があった。